

## 環境白書の構成

### 第1部 大分市の概況と環境行政

### 第2部 大分市のめざす環境像の達成に向けた取組

- ・ 豊かな自然をはぐくみ生きものと共生できるまち（自然環境）
- ・ 水辺や緑と親しみ歴史・文化が薫るまち（快適環境）
- ・ 水や空気がきれいで健康に暮らせるまち（生活環境）
- ・ 限りある資源が大切に使われているまち（資源循環）
- ・ 低炭素な暮らしが実現した地球環境にやさしいまち（地球環境）
- ・ 環境の保全に連携して取り組むまち（環境教育・連携）

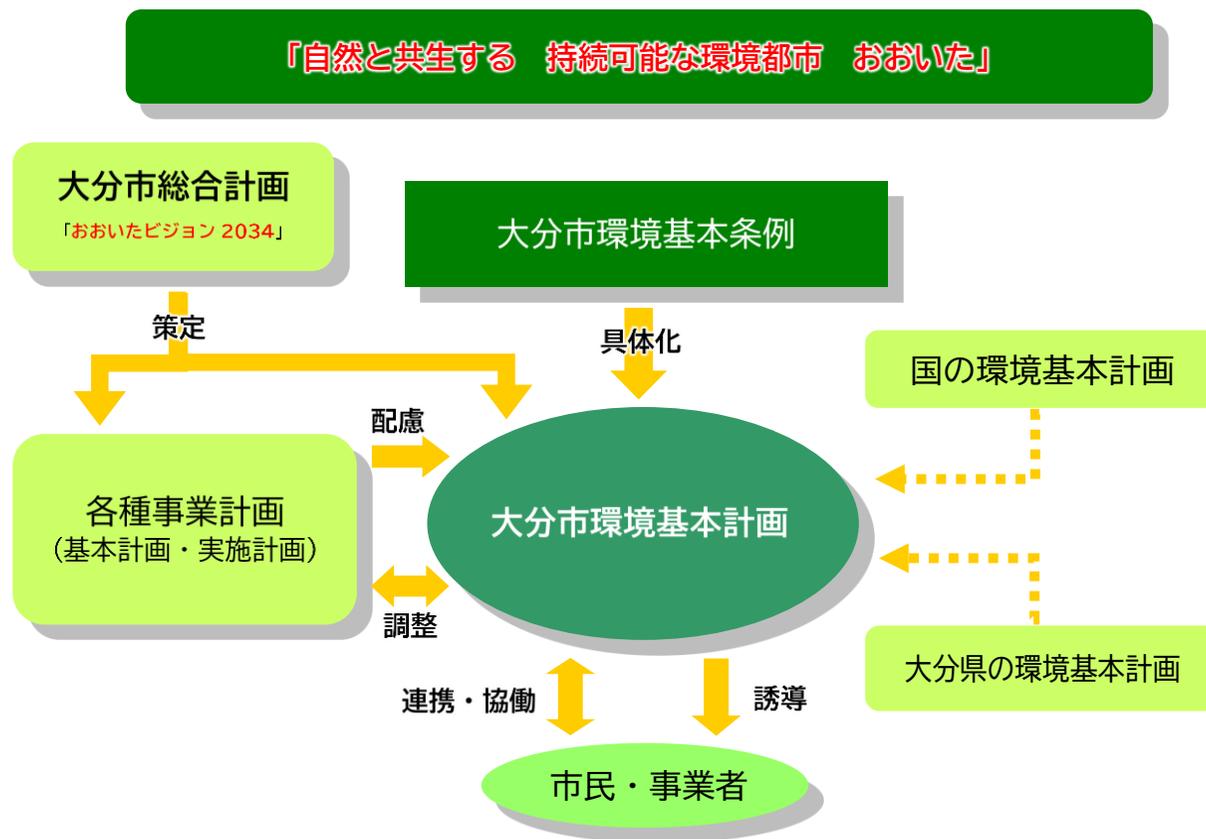
### 第3部 重点的な取組（リーディングプロジェクト）

# 大分市の概況と環境行政

## 大分市環境基本計画

2025(令和7)年3月に第4次計画として改定した大分市環境基本計画では、目指す環境像「自然と共生する 持続可能な環境都市 おおいた」を実現するため、自然環境や地球環境など6つの分野の基本目標を定め、それらに関連するSDGsの目標や基本施策を体系化し、市民や市民団体、事業者と連携しながら各種施策を推進しています。

また、計画の年度ごとの進捗状況等については、環境白書や市ホームページで公表するとともに、大分市環境審議会に報告し、意見や提言を受けて、その後の事業等に反映することとしています。



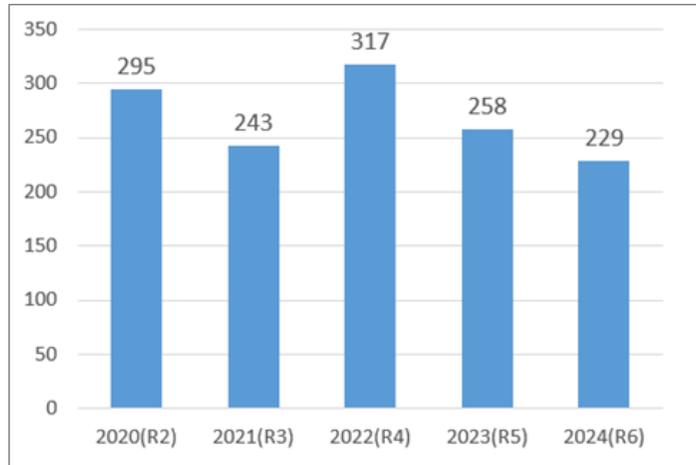
# 豊かな自然をはぐくみ生きものと共生できるまち（自然環境）

## 特定外来生物の防除

「大分市アライグマ防除実施計画」に基づき、地域住民、行政等が協力してアライグマの防除を実施しています。



・アライグマ捕獲頭数の推移 (頭)



## 身近な自然観察会

身近な自然環境を観察することにより、自然の大切さを認識し、自然を守り育てる意識を高めることを目的に、観察会を実施しています。

### 第43回

開催日: 2024(令和6)年5月18日

場 所: 高尾山自然公園

参加者: 32人



### 第44回

開催日: 2024(令和6)年9月7日

場 所: 七瀬川自然公園

参加者: 53人





# 水や空気がきれいで健康に暮らせるまち（生活環境）

## 河川・海域に係る調査結果

### 【生活環境項目（河川）】

河川的环境基準の達成状況（未達成 大野川下流水域）

水域名		類型	測定地点		BOD75% 水質値	達成 状況
大分川	上流	A	天神橋	5	0.6	○
	中流	A	府内大橋	8	0.6	○
	下流	B	広瀬橋	15	0.8	○
弁天大橋			17	1.1		
大野川	下流	A	白滝橋	20	0.5	×
			鶴崎橋	22	2.5	
乙津川		A	海原橋	27	1.1	○
原川		C	日岡橋	28	0.9	○
住吉川		C	新川橋	3	1.3	○
祓川		B	御幸橋	35	0.9	○
丹生川	上流	A	丹生橋	29	1.4	○
	下流	B	王ノ瀬橋	31	0.8	○

A類型：2mg/ℓ以下、B類型：3mg/ℓ以下、C類型：5mg/ℓ以下

### 【生活環境項目（海域）】

海域の環境基準の達成状況（全て達成）

水域名		類型	測定地点		COD75% 水質値	環境基準の 達成状況
別府湾	住吉泊地	C	BSt-1	36	2.3	○
	乙津泊地	C	BSt-2	37	2.6	○
	鶴崎泊地	C	BSt-3	38	2.3	○
	大分港	B	BSt-21	39	1.9	○
			BSt-4	40	1.9	
			BSt-22	41	1.9	
			BSt-5	42	1.9	
	別府湾中央	A	BSt-11	43	1.7	○
			BSt-12	44	1.6	
	別府湾東部	A	BSt-20	45	1.4	○
	大野川東部	B	BSt-6	46	2.0	○
			BSt-7	47	1.9	
	佐賀関港	B	SGSt-3	48	1.8	○
北海部郡東部地先		A	FSt-1	49	1.2	○

A類型：2mg/ℓ以下、B類型：3mg/ℓ以下、C類型：8mg/ℓ以下

# 水や空気がきれい健康に暮らせるまち（生活環境）

## 地下水に係る調査結果

調査名	調査地点数	超過地点数	調査結果
概況調査	10	0	全ての井戸で環境基準を達成
継続監視調査	8	4	<b>【超過内容】</b> （環境基準項目） ・ テトラクロロエチレン 1地点 ・ 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 1地点 （要監視項目） ・ PFOS及びPFOA 2地点

※概況調査……市内を2km×1.5kmの網目状に分割し、市内一円を10年程度で一巡するように実施  
 継続監視調査……過去の概況調査で環境基準を超過した井戸について実施(超過地点は今後も調査を継続)

## ダイオキシン類調査結果

【河川、地下水、土壌調査】

(pg-TEQ/ℓ)

調査項目	調査地点数	測定結果	環境基準
河川	5地点	0.064 ~ 0.25	1 以下
河川底質	2地点	1.1 ~ 1.1	150 以下
地下水	7地点	0.057 ~ 0.063	1 以下
土壌	2地点	0.00078 ~ 0.0031	1,000 以下

【継続監視調査】

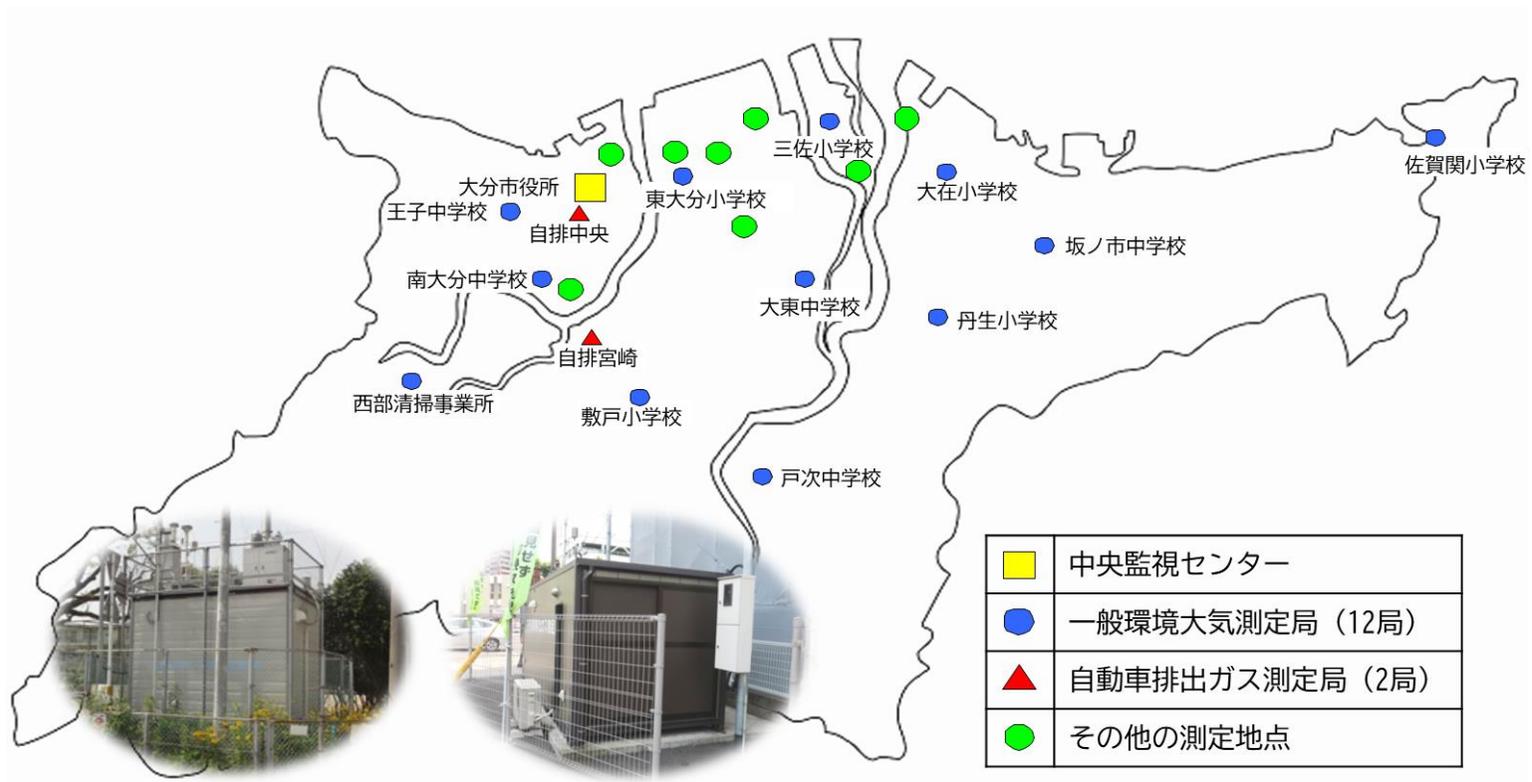
(pg-TEQ/ℓ)

調査項目	調査地点	測定結果	環境基準
地下水	井戸A	1.4	1 以下
地下水	周辺井戸B	0.069	1 以下

過去に基準超過が認められた井戸Aが基準を超過していました。  
 今後も継続監視調査を実施します。

## 大気汚染測定網

大気汚染防止法に基づき、一般環境大気測定局12局と自動車排出ガス測定局2局で、24時間365日、大気の汚染状況を測定しています。



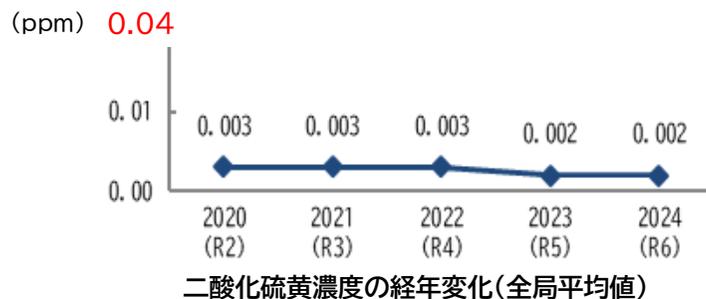
# 水や空気がきれい健康に暮らせるまち（生活環境）

## 一般環境大気測定局の測定結果

環境基準 … 人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい基準

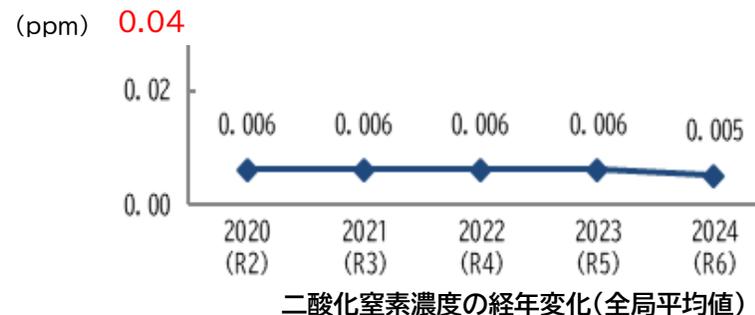
### 二酸化硫黄

測定局数…12(全て環境基準を達成)  
環境基準…1日平均値の2%除外値が0.04ppm以下



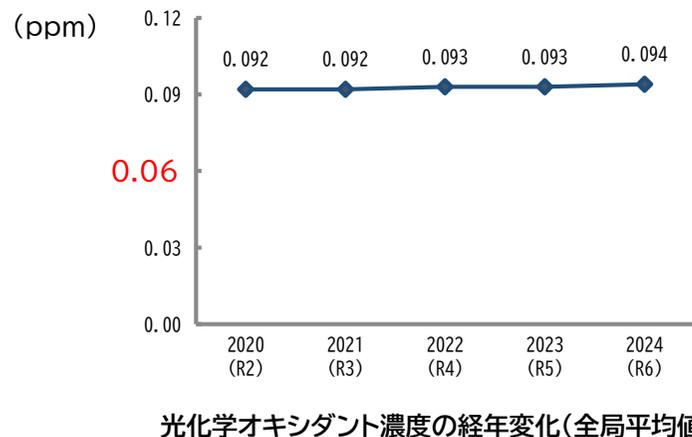
### 二酸化窒素

測定局数…12(全て環境基準を達成)  
環境基準…1日平均値の年間98%値が0.04~0.06ppmのゾーン内またはそれ以下



### 光化学オキシダント

測定局数…12(達成局 無し)  
環境基準…1時間値が0.06ppm以下



### 微小粒子状物質(PM2.5)

測定局数…6(全て環境基準を達成)  
環境基準…年平均値が15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下、かつ、1日平均値の98%値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下



# 水や空気がきれいで健康に暮らせるまち（生活環境）

## 有害大気汚染物質及びダイオキシン類

大気汚染防止法に基づき、有害大気汚染物質による大気の汚染状況について、調査を行った結果、全調査地点で環境基準及び指針値を達成していました。

2024（令和6）年度 有害大気汚染物質調査結果（年平均値）

（単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）

	王子 中学校	三佐 小学校	東大分 小学校	自排中央	自排宮崎	環境基準
ベンゼン	0.71	1.8	1.4	1.2	1.2	3
トリクロロエチレン	0.012	—	—	—	—	130
テトラクロロエチレン	0.025	0.035	0.027	—	—	200
ジクロロメタン	1.7	0.93	0.86	—	—	150

ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、2地点で2回、大気環境中のダイオキシン類の調査を行った結果、全調査地点で環境基準を達成していました。

2024(令和6)年度 ダイオキシン類調査結果(年平均値)

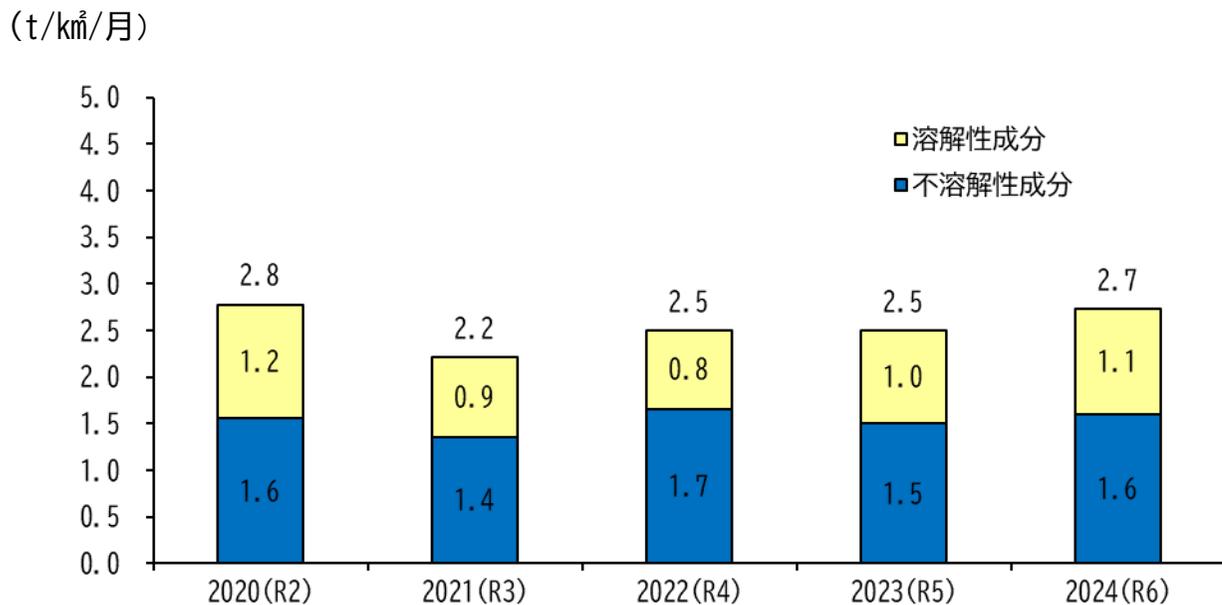
	西部清掃 事業所	東大分 小学校	環境基準
ダイオキシン類	0.0048	0.0071	0.6

（単位： $\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ ）

# 水や空気がきれいで健康に暮らせるまち（生活環境）

## 降下ばいじん量の経年変化（全地点平均値）

12地点にデポジットゲージを設置して、毎月の降下ばいじん量を調査しています。  
本市では、「10t/km<sup>2</sup>/月」を環境保全上の目安値としており、2024(令和6)年度は全地点で目安値を下回っていました。



(注)2021(R3)年度の総量については、両成分の端数処理に伴い、両者の和と僅差が生じています。

## 2022（令和4）年度環境保健サーベイランス調査の概要

### 環境保健サーベイランス調査とは

環境省が、地域人口集団の健康状態と大気汚染との関係を定期的・継続的に観察するため、3歳児及び6歳児を対象に健康調査票による質問調査を実施し、大気汚染物質濃度とぜん息等の呼吸器系症状有症率との関連性について解析、評価を行うものです（対象地域数 3歳児調査34地域、6歳児調査35地域）。

1996（平成8）年度より、関係自治体の協力を得て、毎年実施しています。大分市は、2004（平成16）年度より環境省から調査を受託しています。

### 【本市の調査数】

**3歳児調査** 回答数 3,692人      **6歳児調査** 回答数 3,698人

### 【結果概要】

- ・大気汚染物質濃度が高くなるほどぜん息有症率が高くなるような関連性はみられなかった。
- ・大気汚染によると思われるぜん息有症率の増加を示す地域はみられなかった。
- ・ぜん息発症率についても有意な関連性を示す結果は得られなかった。

# 水や空気がきれいで健康に暮らせるまち（生活環境）

## 騒音・振動に係る概況と現況（一般地域、道路に面する地域）

### 一般地域

環境騒音測定を市内**6**地点で実施。

### 道路に面する地域

主要幹線道路**12**地点で実測。面的評価で実施。

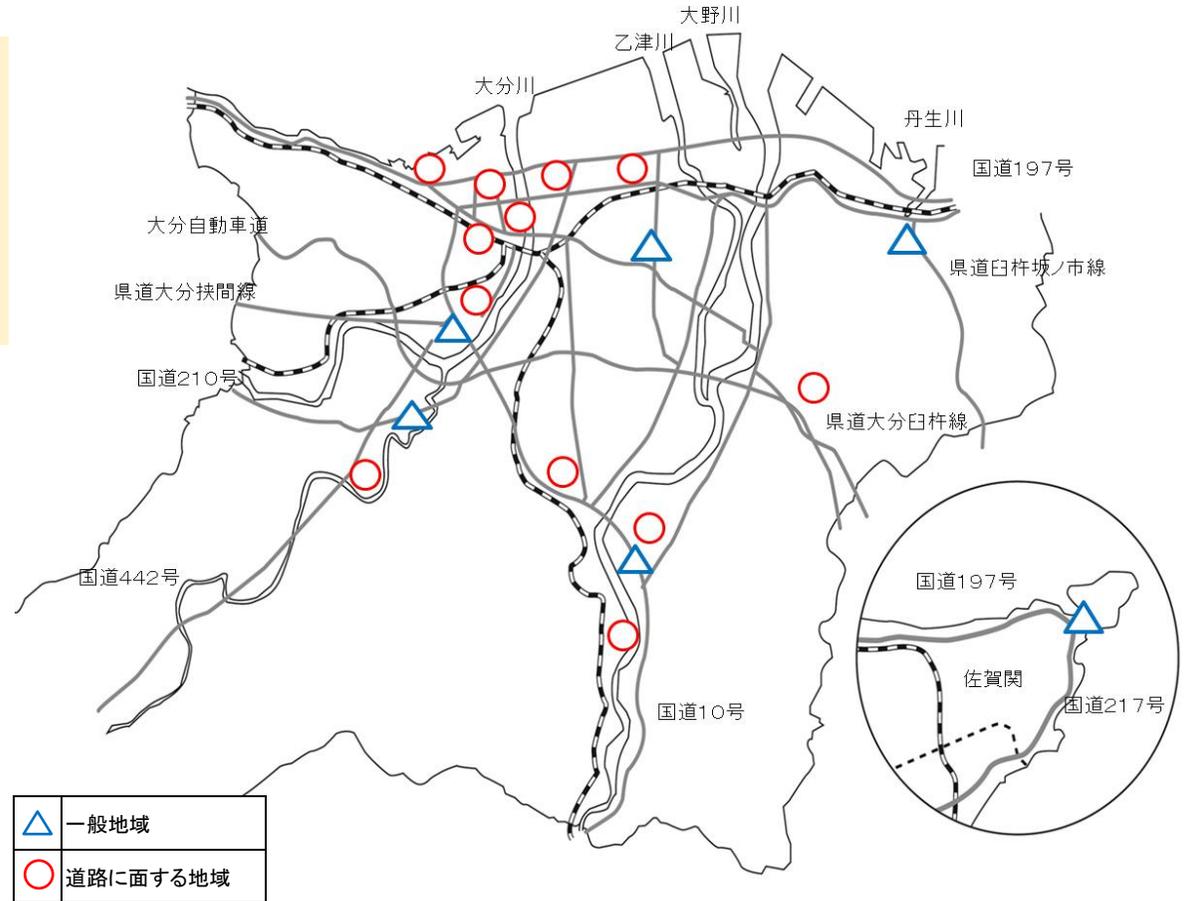
### 【測定結果】

#### 一般地域

全地点で環境基準を達成

#### 道路に面する地域

評価対象住居等の**95.9%**で環境基準を達成



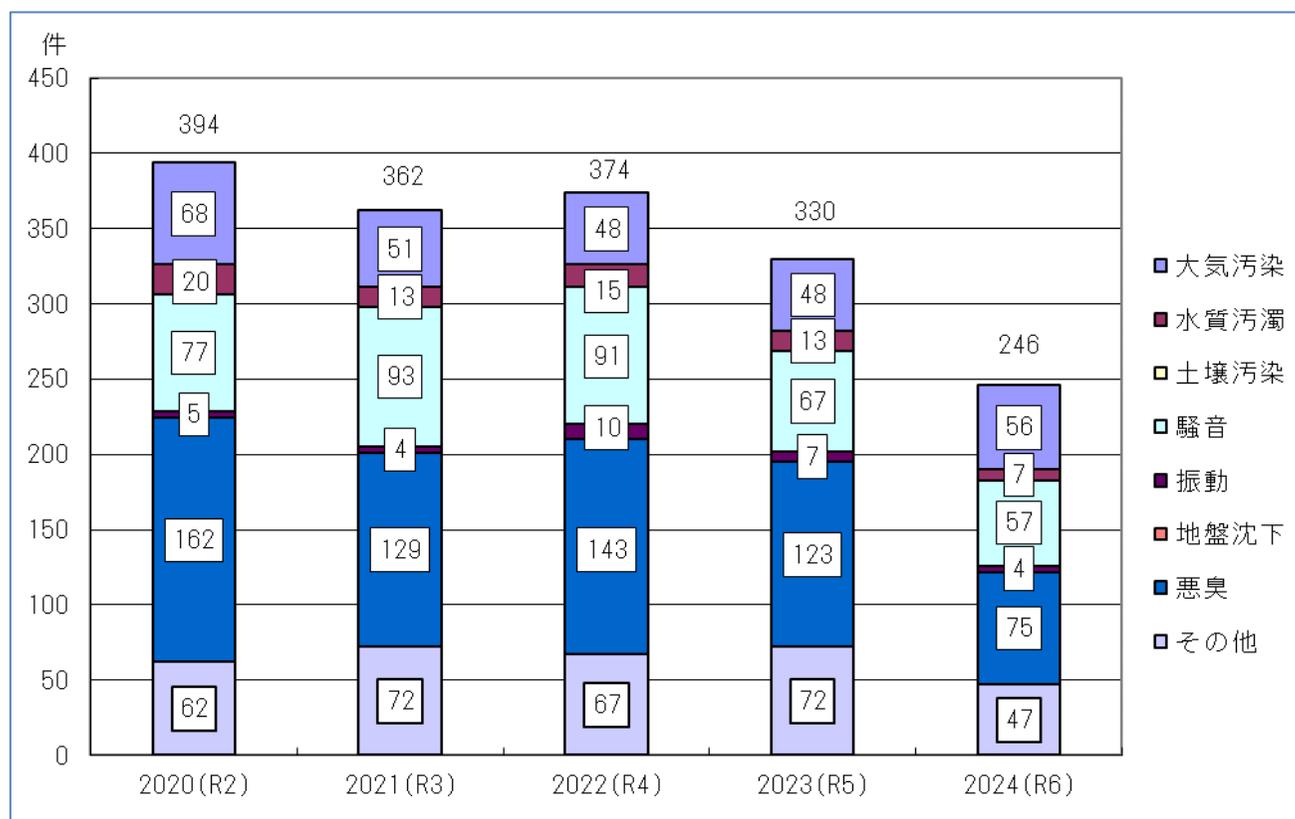
# 水や空気がきれいで健康に暮らせるまち（生活環境）

## 公害苦情

市民や事業者から寄せられる公害苦情については、地方自治法及び公害紛争処理法に基づき、苦情者への聞き取り、現地調査、発生源への指導等を通じて、その解決に努めています。

2024(令和6)年度における公害苦情の受理件数は、246件となっています。

種類別に見ると、悪臭に係る苦情が75件で最も多く、次いで騒音、大気汚染となっています。



公害苦情件数に係る経年変化

## 家庭ごみの排出抑制・減量化の推進

### 家庭ごみ有料化制度

「家庭ごみの減量とリサイクルを推進すること」と「ごみ処理に係る費用負担の公平性を確保すること」を目的とし、家庭から出される「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」を対象に本市が指定した有料のごみ袋を使用する「家庭ごみ有料化制度」を導入しています。

指定有料ごみ袋の種類と手数料の額(販売価格)

種類	大袋	中袋	小袋	特小袋	ミニ袋
容量	45リットル相当	30リットル相当	20リットル相当	10リットル相当	5リットル相当
手数料の額 (1組、税込)	315円	210円	140円	70円	35円

家庭ごみ排出量の推移

(t)

年度	2013(H25) [基準年度]	2023 (R5)	2024 (R6)
燃やせるごみ	90,507	83,455	81,411
燃やせないごみ	5,121	4,766	4,653
合計	95,628	88,221	86,064
削減率(% (対基準年度))		7.8	10.0

## 家庭ごみの排出抑制・減量化の推進

### 生ごみの減量化

家庭から出される燃やせるごみの約40%を占める生ごみの減量を推進するため、「3きり運動」の市民への周知・啓発や生ごみ処理容器等の普及に努めています。

#### 3きり運動推進事業

食材を無駄なく使いきる「使いきり」、おいしく残さず食べる「食べきり」、生ごみをしっかりしぼる「水きり」を「3きり運動」として、広報誌やメディア等を通じて市民へ周知・啓発しています。



#### 生ごみ処理機器購入補助事業

電動式、非電動式の生ごみ処理機器を購入した市民に対して、補助金を交付しています。

2024(令和6)年度 補助件数: 電動式 73件 非電動式 2件

#### 生ごみ処理容器貸与事業

市民にコンポスト容器、ボカシ容器(2個1セット)を無償で貸与することで、生ごみの減量化・堆肥化を推進しています。

2024(令和6)年度 貸与件数:

コンポスト容器 355基  
ボカシ容器 62セット

コンポスト容器



#### 段ボールコンポスト普及啓発事業

段ボールコンポストは、1世帯に年間4セットの支給を行い、4セット終了後、再申請を行うことにより、継続して生ごみの減量に取り組むことができます。

2024(令和6)年度 支給件数: 1,309件

## 家庭ごみのリサイクルの推進

### 資源物回収事業

家庭から排出される資源物である「缶・びん」「ペットボトル」「新聞類・その他紙類・布類」「プラスチック製容器包装」の分別回収を行い、リサイクルを推進しています。

資源物の分別回収量 (t)

年度	缶・びん	ペットボトル	新聞類・その他紙類・布類	プラスチック製容器包装
2023(R5)	3,755	1,630	8,764	3,249
2024(R6)	3,543	1,629	7,920	3,187

### 有価物集団回収事業

市民参加のリサイクル運動として1976(昭和51)年度に開始した新聞紙等の集団回収は、ごみの減量・再資源化の推進に成果を上げるとともに、活動を通じて良好な地域コミュニティづくりに貢献してきました。

有価物集団回収実施状況

年度	実施団体数	回収重量(t)
2023(R5)	309	1,620
2024(R6)	287	1,431



## 産業廃棄物の適正処理・不法投棄の防止

### （１）産業廃棄物処理施設等の設置数

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）に基づく産業廃棄物処理施設数

処理施設の種類の	許可対象施設
汚泥の脱水施設	25
汚泥の乾燥施設	1
廃油の油水分離施設	2
廃酸・廃アルカリの中和施設	4
廃プラスチック類の破碎施設	22
木くず又はがれき類の破碎施設	98
コンクリート固型化施設	1
汚泥の焼却施設	7
廃油の焼却施設	10
廃プラスチック類の焼却施設	8
その他の産業廃棄物の焼却施設	8
産業廃棄物の最終処分場	17
合計	203

### （２）立入検査件数

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）に基づき、排出事業者や処理業者に対する立入検査実施件数

検査・調査内容	件数
事業所立入検査	691
事業所水質検査	162
焼却施設等ダイオキシン類濃度調査	4
産業廃棄物最終処分場測量調査	1
合計	858

### （３）不法投棄パトロール

市内一円のパトロールを行い、不法投棄の発生防止と早期発見及び原状回復を行っています。

## 温室効果ガス削減にかかる省エネ機器等の導入の補助

### 【再エネ・省エネ(蓄電池・V2H)設備設置費補助事業】

補助額 …5万円

補助件数…家庭用蓄電池 144件、V2H 16件



家庭用蓄電池



V2H

### 【家庭用燃料電池(エネファーム)導入推進事業】

補助額 …10万円

補助件数…17件



エネファーム

### 【省エネ家電購入促進事業(エアコン、冷蔵庫)】

補助額 …購入費3分の1(1世帯あたり上限3万円)

補助件数…4,852件

### 【宅配ボックス設置助成事業】

補助額 …購入費3分の1(戸建住宅上限3万円、集合住宅上限30万円)

補助件数…169件(戸建住宅 126件、集合住宅 43件)

## 環境教育・環境学習の充実

### 大分市環境展

開催日	2024(令和6)年6月1日
場 所	ガレリア竹町ドーム広場
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大分市環境ポスター展表彰式及び展示</li> <li>・エコグッズの展示、作製</li> <li>・大分に生息している生物の展示</li> <li>・環境科学実験の実演</li> <li>・生ごみ処理容器(コンポスト等)の展示</li> <li>・汚泥リサイクル肥料の無料配布(500袋)</li> <li>・燃料電池自動車の展示</li> <li>・ステージイベント 等</li> <li>・緑のカーテンの苗やトイレトペーパー(再生紙)等と交換できるスタンプラリーの実施</li> </ul>



会場全景



燃料電池自動車の展示

### 環境ブックの読み聞かせ運動

実施期間	2024(令和6)年6月1日～30日
環境関連図書 設置個所	市民図書館等 144箇所
協力団体数	103団体
環境ブックの 読み聞かせ回数	1,565回
参加人数(延べ)	30,620人



読み聞かせの様子